

文部時報

第五百八十四號

目次

卷頭 (格言三則)

中等學校教授要目改正要旨特輯

中等學校教授要目改正に就いて……………文部次官 河原 春作……………二

師範學校中學校及高等女學校教授要目の改正と

新教授要目の運用に就いて……………文部省普通學務局長 菊池豊三郎……………五

實業學校諸規程改正竝に教授要目改正

及制定に就いて……………文部省實業學務局長 藤野 惠……………一

中等學校改正教授要目の趣意……………文部省……………一九

◇修身……………一九

◇公民科……………三〇

◇教育……………四七

◇國語漢文……………五六

◇歴史……………六九

◇地理……………九四

高等小學裁縫新教授書第三學

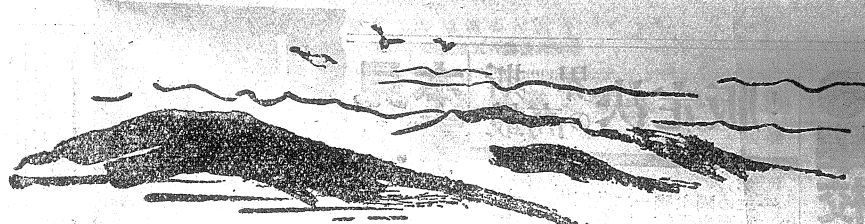
年用について……………文部省督學官 成田 順……………一〇八

學校備附ピアノ及オルガンの

管理に就いて……………東京音樂學校樂器掛……………一二〇

修學旅行とその對象としての東京……………東京市設案内所長 清水 照男……………一二一

特色ある中等學校の施設



我が校に於ける藤蔭寮の生活

静岡縣立藤枝高等女學校長

小倉 隆藏……………一三五

本校の畜産……………

熊本縣立阿蘇農業學校……………一四二

本校に於ける當業者指導實況……………

岩手縣立盛岡商業學校長

加茂 秀雄……………一四五

最近に於ける外國の學校を觀て

ドイツの職業教育について……………

文部省在外研究員
山口高等商業學校教授

河村 東洋……………一四九

訓令……………

文部省訓令第十八號

(昭和十二年度文部省所管學校及圖書館歲入歲出豫算科目表中追加)

——同第十九號(地方社會教育職員定員中改正)——發文九一號(文部省分課規程中改正)

——同文部大臣官房體育課事務分掌規程改正)……………

一五七

告示……………

文部省告示第二百十八號(國府臺學院高等實踐女學校設置認可)——同第二百十九號(和歌

山實業學校同上)——同第二百二十號(第二岩佐高等女學校改稱認可)——同第二百二十一

號(天台宗比叡山中學廢止認可)——同第二百二十二號(東京市杉並商業學校設置認可)——

同第二百二十三號(千葉縣安房高等家政女學校同上)——同第二百二十四號(奈良縣高田實

科女學校名稱變更認可)——同第二百二十五號(セルバンドン日本人小學校恩給法指定)

——同第二百二十六號(青州日本人會立青州尋常高等小學校同上)——同第二百二十七號

(東京市麹町區商業學校名稱等變更認可)——同第二百二十八號(香川縣琴平實科高等女學
校設置認可)——同第二百二十九號(師範學校中學校高等女學校教員無試驗檢定取扱許可學
校中元東北學院專門部及東北學院ノ項改正)——同第二百三十號(加茂朝學校本科卒業者ヲ
中學校卒業者ト同等以上ト指定)——同第二百三十一號(千葉縣長生家政女學校設置認可)
——同第二百三十二號(教員無試驗檢定指定學校名及學科目中改正)……………

一五八

通牒……………

師範學校中學校高等女學校教授要目改正ニ關スル件——實業學校諸

規程中改正及實業學校教授要目制定ニ關スル件——中等學校修身公

民科教授要目ニ關スル件——中等學校教授要目改正及制定等ニ關ス

ル件……………

一五九

敘任及辭令……………

(自昭和十二年四月二十一日至同三十日公表ノ分等)……………

一六四

彙報……………

文化勳章拜受者——講師囑託並解囑——中等學校新教授要目講習會——第三回師範學校專

攻科高等女學校高等科及專攻科教員試驗檢定合格者——教員免許狀擬奪——檢定教科用圖

書——蓄音機レコード推薦——實業學校長認可——ヘレン・ケラー女史歡迎講演會開催

——「ひとのみち教團」所屬教會所閉鎖——淨土宗教令教師檢定條規等中改正——法人設立

許可——歸朝——轉任——退職——死去……………

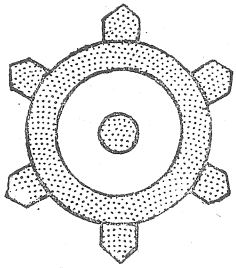
一七六

文教問答……………

一八六

地方學事消息……………

一八八



修學旅行とその對象としての東京

東京市設案内所長 清水 照 男

まへがき

現在世界各國に於ては、觀光事業が貿易と並行して國民經濟上極めて重要事業であるのみならず、この事業を通じて行はるゝ國力、國情の宣揚の効果の大きいのに鑑みて、いづれも國家政策の對象としての重要性を認め、この事業の發展に力を盡してゐるのである。我國に於ても亦、政府は鐵道省に國際觀光局を設け、觀光事業を重要國策として採り、國際觀光事業、延いては、國內觀光事業の發達伸張は、近時洵に目覺しいものがある。我東京市も亦、此の狀勢に對應して、昭和八年、その行政組織の中に市設案内所を加へ、觀光關係事務を

管掌する機關としたのである。現在に於ては、市役所内の本部の外、東京驛、上野驛、丸ビル内東京商品館の三箇所その派出所を有つてゐる。いま、この案内所が、修學旅行の計畫と實施にどんな關係があるかを明らかにするために、その事業の概要を記さうと思ふ。

東京市設案内所は、内外觀光客の誘致と、これに對する接遇斡旋とをその主要目的とする機關であるが、同時に都市文化と都市生活の百科辭典的の施設としての特殊の機能を有してゐるのであつて、獨り觀光客のみでなく總ての上京客及び市民に對して、百般の都市文化の解説とその利用につき便宜を提供することを使命としてゐる文化的公共機關である。従つて、その事業の内容を具體的に擧げてみれば、

- (1) 名勝、史蹟、遊覽地等の紹介と観光日程、観光順路の作成
- (2) 交通機關と地理の案内
- (3) 旅館、買物、娯樂等についての案内
- (4) 市内見學、視察についての便宜の提供
- (5) 市事業、學校、産業及びその他凡ゆる文化施設についての問合
せに對する回答とこれらの利用についての幹旋
- (6) 東京に關する知識普及のため案内書、地圖、繪葉書等印刷物の
頒布

などである。修學旅行の實施に當つては、その目的を十分達成させるために、是非、利用さるべき機關である。

一 修學旅行について

一 修學旅行の目的。修學旅行の主要な目的が、教育的實地見學であることは論を俟たないところであるが、それが從來の如く單に名所舊蹟等を實地につき見分するといふだけに止まるとすれば、修學旅行の効果を十分に收得したものとは言へないであらう。従つて、その旅行實施に當つては、次の諸目的に關して特に注意を拂ふことが肝要であると考へられる。

(1) 社會認識を深め、事物に對する視野を廣めること 東

いて要約、集中、發展せしめられてゐるかを了解させ、相關々聯的に、社會活動、社會機構を意識付けることに依つて、社會と事物に對する視野の擴大を圖るべきであると思ふ。

(2) 批判力の涵養を計ること 絢爛たる近代文化の象徴とも言ふべきこの東京での見學によつて、ものの批判的見分を教へ、批判力の涵養を計る絶好の機會が與へられると思ふ。

近代の代表的文化都市たる東京——豪壯な建築物、美麗な道路、疾驅する交通機關等、街々は豪華な景觀に充ちてゐる。

併し乍ら、これを單に表面的にのみ觀察して、高度文化の象徴として讚美し、印象づけるに止つてはならないのである。

その表と裏、長所と缺陷とを判然と比較識別しつゝ、批判的態度をもつて見學せしめるやう指導することも亦、修學旅行の重大目的であると思ふのである。日本産業組織の心臓部とも言ふべき丸ノ内のビジネス・センターの白壁高層のビルディング街に働くサラリーメンに、如何に結核病患者が多いか、近代大産業資本の驚異的活躍の舞臺の蔭に、中小商工業者が如何に難戦苦闘をなしつゝあるか、職業紹介所に群る失業者の悲惨な大群を、大工場に働く可憐な少女達の能率的な小さな手を、豪華絢爛な表面の下の眞實の姿を知らしめ、都會のそれぞれの斷面に於て、社會生活とは、如何に多くの矛盾を

修學旅行とその對象としての東京

京での見學は、先づ二重橋における 皇居の遙拜を以つて始まる。日本臣民として、その生命、信仰、生活思想、歴史、社會凡ゆるものゝ源泉について沈思すべきである。これは日本國民として最も大切なことで上京の意義の大部分は之れで盡きるとも云ふべきであるが、尙將來社會各方面に活躍すべき下地として、活きた社會、活動する文化諸機關を見學し、その活氣に觸れしめ、生きた社會知識を與へ、或は又職業教育上參考となるべき有效な特殊施設、機關及その實際的活動を見學する等、都市文化の諸斷面に接觸することによつて、廣く、實質的に社會認識を得させ、以つて社會事物に對する視野を廣からしめることに留意すべきである。この意味に於て、敬神思想の涵養と古代文化の探究をその主目的とする京阪、奈良、伊勢地方への修學旅行と並んで、東京への修學旅行の重大な意義が考へられると思ふのである。日本の帝都として、政治、經濟、産業、その他凡ゆる文化の中樞であり、且、江戸、明治、大正の豊富な史蹟と、近代文化の粹に満たされ、人口六百萬世界第二の大都市であり、帝國興隆の指針である東京各方面の效果の見學によつて、正しき社會認識を與へ、如實に日本文化の水準を知らしめ、一面、一地方に於ける政治活動が、經濟活動が、産業活動が、如何に、中央に於

内藏し、如何に深刻な苦悶に喘いでゐるかを批判的に眺めしめ、次代の國民をして、批判力を涵養し、眞實の物の價值を理解させるに努むべきであると思ふのである。

(3) 旅行趣味を會得せしむること 修學旅行は、生徒に旅行趣味を植へ付ける絶好の機會である。近代人の趣味の中で、旅行の趣味は誠に高尚健康なものであつて、國民保健上からは言ふに及ばず、情操教育上其他頗る大きな効果があるから、是非、この趣味は鼓吹、獎勵せねばならぬわけである。

二 修學旅行の準備 上述のやうな目的を達成し、その効果を擧げるためには、周到な準備の必要があると思ふ。それに關して二三の點につき卑見を述べたいと思ふ。

(1) 日程と順路の作成について 東京地方への修學旅行は、東京の外、その觀光ブロックである日光、箱根、鎌倉、江の島等近縣の名所地を包含する關係上、東京見學だけに充分の時間を割くことは困難であらうと思はれる。市設案内所の調査によれば、一泊一日がその大部分を占めてゐるやうである。學業及經費の關係上、二日三日といふ日數をとることは至難であらうから、一日の見學を充分效果的ならしめるやう工夫を凝らさねばならない。これについては、市設案内所を利用せられ、常に新しい資料を基礎とし、教育上重要

價值ある場所の選擇に遺憾なきを期し、教育效果なき所謂名所に貴重な時間を多く奪はれぬやう注意し、我々のやうな仕事に携はつてゐるものでも、動もすると氣付かぬ激しい變化のある東京のことであるから、慎重に、正確な日程表と詳細な順路表とを作成することが肝要である。殊に、順路については、道路、交通機關、集合場所、晝食場所等の關係を考慮し、常に安全と時間及經費の經濟を計るべきであると思ふのである。

(2) 旅館と交通機關について 旅館の待遇の善悪は、旅行の印象を支配するものであるから、修學旅行に當つても旅館の選擇は重視せねばならない。僅少の宿泊料節減の結果、採算上、良心的にして信用ある旅館は、修學旅行團體を好まないといふ結果を生じ易いのである。この點については是非共考慮せらるるやう希望する。今日の通常料金では、少くとも一泊一圓五〇錢以上は計上せねばならないものと思ふ。

從來、旅館の選定は、廣告、勧誘、或は在京卒業生の紹介その他種々の方法によられたものと思はれるが、見學日程、順路表の作製の關係もあり、出来るだけ廣範圍から選ぶ意味に於て、旅館組合と聯絡あり、詳細の調査をもつ市設案内所、ツーリスト・ビュロー等の機關を利用せらるゝのが便利である。

と詠んだ通り、奈良 京都の繁榮した千年の昔に遡れば、誰一人顧みるものもない隅田川口の一荒野に過ぎなかつた。太田道灌がこの一角に江戸城を築いたのが今から凡そ四百七十年前、これが即ち我東京の起源である。その後百餘年を経て、天正十八年。徳川家康が關八州の領主として此處に居城を定むるや江戸は急激な發展をなし、徳川十五代二百六十八年の長い間、天下の覇都として大江戸文化の華を開くに至つたのである。今日市廳舎正面大玄關を入ると帝都建設に輝かしいあとを残したこの二偉人の像を見ることが出来る。然しながら明治の維新に遭ひ江戸は全くその舊態を一新するに至つた。三世紀に亘る長い幕政はこゝに終りを告げ王政古に復し江戸はその名と共に衣を脱して、覇都から光輝ある帝都への新生の道を力強く踏出したのである。爾來東京は新興日本の首都として、又、泰西文化移入の關門として着々充實の歩を進め、茲に我等の東京を確立するに至つたのである。

大正十二年九月一日突如として關東一帯を襲つた大震災は、さしも輪奐の美を誇つた帝都の樞軸を一朝にして荒涼たる焼野ヶ原と化し、その損害額概算三十七億圓と稱せらるる全滅に等しい打撃を蒙つた。ために帝都の前途は一時暗慘たるものがあつたが、九月十二日、當時攝政に在はせられた

修學旅行とその對象としての東京

見學に使用する乗物は、近時、大型遊覽自動車を利用せらるゝ向が多いやうであるが、その他、圓タクの使用と、市營電車、バス、地下鐵、省線電車等の混合利用の方法がある。

(3) 豫備知識の附與について 短時間に、廣汎、複雑、多岐に亘る文化都市の全貌に觸れやうといふのであるから、充分豫備知識を與へて置いて、兎角、觀察の表面的に流れ、正確な認識の得難い修學旅行の弊を除き、その効果を全からしめたいものである。豫備知識を附與するために必要な參考資料については、我々も出来る限りの便宜を計り度いと考へてゐるのである。

二 觀光都市東京について

上述した處に於いて新しい意味における觀光旅行としての修學旅行に關して若干の考究を試みたわけであるが、その對象としての觀光都市東京について、各方面から、これを眺めて參考の資料としたいと思ふ。

一 東京市の沿革 今でこそ人口六百萬を擁し世界第二位を誇る大東京ではあるが、その昔は太田道灌が

露おかぬくさもありけり夕立の空より廣き武藏野の原

今上陛下には長くも帝都復興に關する 詔書を頒發し給ひ、東京は

一朝不慮ノ災害ニ罹リテ今ヤ其ノ舊形ヲ留メスト雖依然トシテ我國都タルノ地位ヲ失ハス是ヲ以テ其ノ善後策ハ獨リ舊態ヲ回復スルニ止マラス進シテ將來ノ發展ヲ圖リ以テ巷衢ノ面目ヲ新ニセサルヘカラス

と宣はせられ、以て民心の歸趨を一にし、併せて帝都復興の根基を示させられた。加ふるに、全國同胞は勿論、世界各國の心からなる同情と激勵に力を得た市民は未だ消えやらぬ灰燼の中に奮ひ立つて復興を目指し、政府も亦、優渥なる聖旨を奉體して、國都百年の理想を基礎とした復興計畫を樹立して、俱に帝都再建の大事業に着手し、かくして七箇年半の歲月と七億圓に餘る龐大なる經費を費して帝都の復興は遂に完成し、われらの東京は茲に壯麗な姿をもつて更生したのである。

伸びゆく東京は恰も堰堤を破つた奔流のやうな勢ひを以て膨脹し、遂に昭和七年十月一日東京市はその隣接八十二箇町村を併合して多年の懸案であつた大東京を實現し、人口一躍六百萬を數へ紐育に次ぐ世界第二位の大都となるに至つた。日本帝國の興隆を反映して伸びゆく我等の東京は名實共に世

界の東京である。

二 人口 【その特質】 昭和十年の國勢調査の結果に依ると總人口は、五、八七五、三八八の巨數に上り、ニューヨークに次で世界第二位を占め、その人口密度は、一方一〇、六六六である。東京の人口は年々激増の傾向を示してゐるが、出生數と死亡數の差である自然増加は、その増加人口の一部分で、大部分は毎年地方より移住又は遊學して來る人達である。例へば、昭和九年に於いては昭和八年より六四七、〇〇三人増加してゐるが、その中自然増加は約三分の一にしか過ぎない。又東京の街路を通行する都人士を観察しても判る様に東京には老人が少い。統計的に見ると、東京人口の最も多數を占める年齢は十五歳から二十四歳に至る青少年階級の者である。これは大都市人口の一特質をなすものである。【晝夜人口の移動】 東京の様な大都市に於ては、住宅地と職場とがかけ離れてゐる關係上所謂晝夜人口の移動といふ現象が起る。即ち工場地帯若くは繁華な商業地帯に屬する處には晝間夥しい労働者や勤人が雲集して所謂晝間人口を形成し、夜間は各自の居住地に歸るため晝夜間の人口に非常な開きを見せるのである。例へば、官公署、銀行、會社等の多い麹町では、夜間僅かに五四、四九五五人（昭和五年國勢調査、以下同）

抑止し、科學的統制の下に、都市機能を充分に發揮し、都市生活を快適安易ならしめようとするものであるが、それは單に道路を作り、橋梁を架けたりする外形の整備だけに止まるものではなく、その環境を整理し、延いては都市生活者の精神や道德の上にまで良い影響感化を期待するものである。刻々に複雑化してゆく都市住民の生活様式に順應して適切な施設をなし、之に正しい基調と指針を與へ、都市生活の明朗化を圖るといふのが都市計畫の要諦である。東京都市計畫は、その基調を地域制に置き、東京驛を中心とする十六軒内に在る地域の夫々の特質に應じ、住居地域、商業地域、工業地域の別を設け、空地、面積、高さ、採光等を考慮して建築物に適當の制限を加へてゐる。又、この外に夫々の目的の下に、防火地區、美觀地區、風致地區を指定し、種々の制限を加へてゐるのである。防火地區とは、火災の被害を最少限度に喰ひ止めるため、又、今後の非常時の防空にも備へ、都市建造物の堅牢化を圖る目的を以つて、重要な地域を指定し、その地區内の建物は、新築、改築に際しては凡て耐火構築としなければならぬとするものである。美觀地區とは、都市美觀の維持のために、建築美の整備、統制を圖るために特に指定する地區である。建築美の統整は都市の威嚴を加へ魅力を増さ

修學旅行とその對象としての東京

に過ぎないが、晝間人口は實に一六一、五八六人に上り約三倍となり、又典型的商業地である日本橋及京橋兩區は、多くの大規模商店、百貨店、銀行等を抱擁し、これらの職場と住宅との分離に伴ふ晝間人口の膨脹を、又所謂學生街として全市學校數の一割を占める神田區は通學學生生徒に依る夥しい晝間人口の移動を示すのである。【産業人口】 多數市民が日常如何なる生業に従事してゐるかを一瞥する。（以下昭和五年度國勢調査による）大都市の特色として所謂寄食人口が非常に多く、本市の有業者は總人口の四割二分に當り、全國平均より低く、産業別では商業、工業に従事する者頗る多く、何れも大體産業人口の三割五分を占め、更に官公吏、軍人、教育家、藝術家等の所謂公務及自由業に従事するもの、交通機關の運輸に従事する交通業者が他都市に比べ著しく多數である。又最近婦人の職業進出目覺しく、所謂職業婦人は總有業者の二割二分に當り、商業に従事する者が多い。

三 都市計畫 資本主義生産方法の確立により重要産業の都市集中の結果、都市は急激に發展し、膨脹し、ために混亂と喧噪の巷と化せざるを得ない。市民はその生活の快適を失ひ、住居の安寧を脅かさるゝに至つた。都市計畫は、かやうな都市の發展に伴ふ無統制、混亂狀態を有機的施設の計畫によつて

しめる效果をもち、東京が帝都たるの品位を保つ上からも重視されねばならぬことである。東京市に於いては、昭和八年四月、宮城を中心とした丸ノ内一帯——内濠に圍まれた部分と官廳街附近の土地が我國に於ける最初の美觀地區として指定された。建物について種々の制限が附され、廣告、看板等の醜惡化を防いでゐる。その他、銀座、京橋、日本橋、新宿等の主要街も當然この地區としての適用を受くべきである。更に、都市の内外に於ける自然美の維持、保存のため風致地區の指定がある。美觀地區と風致地區の並立により初めて都市美と自然美の調和が得られるわけである。東京の風致地區は、明治神宮内外苑、洗足、善福寺、石神井、江戸川、多摩川、和田堀、野方、大泉の九箇所である。明治神宮内外苑風致地區は明治神宮の尊嚴を維持するのを主目的とする特殊のものである。

尚、都市計畫の新しい重要な分野として綠地計畫の問題がある。市内及近郊の綠地の利用を無制限に放任せず、市民の保健衛生、慰安休養、都市防備の見地に立つて、東京驛を中心とする半径五〇軒の地域内を對象とするもので、風致地區とは別のものである。市内の大小百餘の公園と九つの風致地區と相俟つて、綠に喘ぐ都市生活者の苦惱を解消しやうといふ

譯である。

最後に、東京市の繁華な街々を形成してゐる美麗な道路について見るに、昭和二年八月決定せられた道路計畫は、大震災により焼失した区域内における復興道路計畫に對應し、都市計畫區域内全部に亘つて樹立された交通上根幹ともみられる道路網である。路線數は一四三線、總延長六六四、九一四米、工費三億六千五百六十六萬圓、この道路網は、都心と郊外を連絡する幹線放射道路と、東京驛前を中心とする半径十哩圏外に東京市を一周する幹線環狀線道路、補助線道路及市内路線とがある。

四 教育施設 人口約六百萬の東京市内に、約百萬を越ゆる學徒がゐることは、帝都が教育文化の中心であり、如何に多くの教育施設があるかの證據である。この中初等教育に屬する兒童數は、七十數萬人、中等學校以上の學生生徒數は、約三十餘萬人である。

これ等に對する學校施設の概要を見れば、大學專門學校が、流石に大東京であつて、官公私立を合し、百を突破してゐる。中等學校三百に近く、青年學校二百六校、七十數萬人の學齡兒童數に對する施設たる小學校は、市立が最も多く、官、公私立總てを合して、六百五十九校の多きを數へてゐる。幼稚

園總計二百九十二園である。

本市人口の激増に伴ひ累年兒童の増加も夥しく、之れがために毎年五百學級の増設を必要とするも、財政上急激の實現は望まれず、この結果教室の不足から、大體この不足數の倍だけの二部教授學級數のあることは誠に遺憾に堪へないところである。

尙、圖書館は社會教育常置機關として市民の文化的要求の象徴であるが、明治三十九年の設置にかゝる日比谷圖書館以下二十六館の市立の圖書館を有し、藏書數四十六萬冊、一ヶ年の閱覽人員は二百三十九萬八千餘人である。(昭和九年)此の市立のもの外、帝國圖書館外三館が市内にある。

更らに、東京市内に在る博物館、動、植物園等教育觀覽施設は、文部省内の日本博物館協會の調査するところによれば、實に三十三館の多きに上る。左にその名稱を列記する。

帝室博物館△東京美術學校陳列館△東京市上野恩賜公園動物園△美術研究所△東京科學博物館△植物園△演劇博物館△早稻田大學文學部史學科陳列室△東京市大塚教材園△東京文理科學大學史學科標品室△東京高等蠶絲學校圖書標本室△井ノ頭恩賜公園動物園△平山博物標本室△多摩聖蹟記念

館△哲學堂△明治神宮寶物殿△聖德記念繪畫館△遊就館△國防館△逓信博物館△明治大學刑事博物館△鐵道博物館△電氣博物館△滿蒙資源館△航空展覽室△特許局陳列室△大倉集古館△赤十字博物館△泉岳寺義士遺物館△増上寺徳川家靈廟△東京郷土資料陳列館△東京市復興記念館△被服協會本部參考館△書道博物館

五 社會施設 大東京の發展、膨脹に伴ひ、社會生活は益々その弱點を多く現はし、大都會の文化の恵みから遠ざかり、不遇の生活を送る不幸な市民の多くが存在することは誠に關心すべき事である。東京市内に於ける各種社會施設は、これ等の救済救濟指導のために、頗る多岐多數に上り、限りある紙數に之れを記述することは困難である。茲には主として東京市設のものについて概観してみることとする。

本市の社會事業施設の中一般救護に關する主なるものは、方面事業及養育院である。方面事業は公私の救助を受けなければ生活し得ない者や、辛うじて生活して居る者など所謂要保護世帯を對象として經營されてゐる。此の要保護世帯は、現在十一萬六千餘に達し、殊に荒川、本所、淺草、城東、向島、足立等の各區に多い。本市に於ては、市内を百十八方面に分ち、二千人の方面委員を置き、夫々の方面に於ける貧困

者の親切な相談相手となつてゐる。養育院は板橋本院、巢鴨分院、安房分院、井ノ頭學校より成り、二千四百人を收容し、本市社會事業中最古のものである。

右の外、指導教化機關としての市民館二十四を始め、經濟保護施設として宿泊所十四(有料十、無料四)、食堂十六、質屋二十、浴場三、住宅二千二百九十三戸を有し、その他乳幼児及兒童保護機關として産院四、乳兒院二、幼少年保護所一あり、何れも相當の成績を擧げてゐる。市内に於ける失業者は約六萬五千人(内知識階級一萬九千、勞働者四萬六千)と推算され、これに對し本市は四十六箇所の職業紹介所と五箇所の同出張所並に六箇所の授産場に依つて、一般求人、求職の需要供給調節と速成的の授職を圖つてゐる。

六 保健施設 東京市内には約一萬人の醫師と、官、公、私立の病院三百有餘を有し、一見醫療施設に缺くる所無きかの如き觀あるが、尙實際に於て施設の不足を嘆ぜねばならぬ情態にある。本市に於ては、保健衛生施設として一般醫療施設、傳染病豫防施設の外、清掃施設及公園墓地施設の四つに大別される。一般醫療施設としては、普通病院七、診療所八、寄生虫診療所二、トラホーム診療所二(外に移動六班)、小兒保健所二あり、無料又は實費を徴收して中産以下の市民の治

療に當つてゐる。傳染病豫防施設としては傳染病院六、隔離所三、消毒所一（外に支部五）がある。東京市内に於て昭和九年中の肺結核死亡者は九、一三二人其の他の結核に依るもの二、四〇九人で、他の何れの原因に依る死亡者よりも高率であるのは眞に寒心すべき事である。本市は結核豫防法第六條に基き中野區江古田町に大正九年より療養所を設け、本市住民にして肺結核、喉頭結核に罹り自ら療養の途の無い者を收容して居る。本療養所の收容能力は一、一七〇床であるが、尙満員の爲收容出來ぬ患者が相當あるので、是等の人々を市内外の民間病院に診療を委託して居る。又十箇所の健康相談所に依り結核の早期發見に努めてゐる。

右の外、保健館、衛生試験所がある。保健館は特別衛生地區京橋區の中心機關で、區民と公私衛生機關との連絡の衝に當り、疾病の豫防、身體鍛鍊等に關しても醫學理論の應用實行に努め、又衛生試験所は衛生、榮養等に關し専門的の調査研究を爲し、市民の依頼に依る保健衛生上の調査或は試験を行つてゐる。

塵芥と糞尿の處分が清掃事業の主要なもので毎日市内から排出される塵芥量は舊市域二十九萬貫、新市域三十六萬貫、合計六十五萬貫に達する。これは塵芥處理工場に運んで焼却

する外、一部は野天で焼却或は濕地の埋立や養豚飼料として利用されてゐる。糞尿處分は改良下水道が完備しない限り汲取處分に依る外はないのである。一部は下水道淨化裝置により處分されるが、大部分は舟又は自動車にて搬出し近縣農會等に交付してゐる。

七 産業 東京市は我帝國の首都であると同時に、産業の大中心地でもある。日本銀行を始めとして普通並特殊銀行中大資本を擁するものは其の本據を多く本市内に置いて居り、本市に於ける手形交換高は昭和九年中にて二百五十三億圓餘に上り全國三三交換所中の首位を占めて、其の三・九四％に當つて居る。株式其の他の取引に就いて觀れば、東京株式取引所に於ける株式賣買高は清算取引高に於て大阪を遙に凌駕し昭和九年には賣買高一億三百萬株（全國の三九・六％）に及び、米穀市場及綿絲、人絹市場等も夫々有數な地位を占めて居る。又本市の會社本店數は昭和八年末に於て一萬二千九百社、資本金總額八十三億九千百餘萬圓に達し、全國の四割二分に該當するのである。貿易に就ては昭和八年中に於て本市の輸出入總額は七億七千二百餘萬圓を算して全國の二割を占めて居る。

本市は從來消費都市と稱されて居たのであるが、昭和七年

の市域擴張の結果、生産都市として面目を一新し、昭和八年に於て生産額十二億二千二百萬圓を越え、本邦最大の商工都市となつたのである。

本市工業地域の一角は、川崎、横濱兩市と共に、我國工業地帯の重要なもので、所謂京濱工業地帯を形成し、生産部面に於て緊密不可分の相關々係を有して居る。而して本市は經濟的背後地廣範圍に亘り、海陸交通の利便に恵まれ、燃料、原料及生産品の集散の便宜、勞働者の吸收も亦容易である等凡ゆる點に於て商工都市としての諸條件を具備して居る。從つて昭和八年に於ては諸生産額の中、工業額は首位を占め、總額十二億二千二百一十一萬圓中十一億八千二百五十八萬圓は實に之に屬するのである。

工業に亞いで盛んなものは畜産業の一千六百二萬圓で昭和七年に較べて二百五十萬圓に近き急増を示して居り、本市家畜市場並屠場建設計畫と相俟つて今後益々發展する事と思はれる。

生産額に於て第三位に在る本市水産業は沿岸十里餘に及ぶ地先各漁場の底質水質の良好、天然餌料の豊富等に依り年産額一千三百萬圓餘を擧げて居り、本業者、副業者並其の使用人の合計は三萬人に近い。養殖業は本市水産業の骨子を爲し、

其の中海苔の生産は本邦に於て獨自の地位を有し養殖場面積一、七八九、四二九坪に及び、此の外貝類（養殖場面積一、〇七六、三九五坪）、鰯、金魚等がある。

千五百萬圓の巨費を投じて建設せられた東京市中央卸賣市場は、市民の日常必需品たる魚類、肉類、卵、蔬菜及果實等の卸賣を行ふ場所である。建物、設備等は一切東京市の所有で、各問屋、仲買人がこれを借りて取引する仕組で、規模の宏壯、施設の完備並取扱數量に於て世界屈指の大市場である。神田及江東の兩青果市場はこの分場である。

八 東京の公園と史蹟名勝天然紀念物 【公園】明治六年太政官布達に基き淺草、芝、上野、深川、飛鳥山の五箇所を公園と指定したに始り、其の後日比谷公園は我國最初の近代の公園として開設せられ、更らに大震災災後帝都復興事業として隅田、濱町及錦糸の三大公園が建設され、現在に於ては翠巖深き皇城の森と優雅な濠地の風光とを核心として本市の公園用地は大小一三六箇所、面積八六三、〇〇〇餘坪（昭和十年度現在）に及んでゐる。而して本市公園に關し深く銘記せねばならぬ事は、全公園面積の約三分の一は長くも市民の保健に關し、殊の外御軫念遊ばされて皇室より下賜せられたもので、井ノ頭、上野、舊芝離宮及猿江の四恩賜公園

は本市の誇りとする所である。また近くは昭和九年一月に高松宮家より 有栖川宮記念公園の御賜與を受けたのである。

本市公園は下町方面には比較的多く配置され、其全部が近代的に新装を施されてゐる。是等の外に街路の風致を添へ公園と略同様の機能をも有する路傍小庭が此の間に介在して一應都市公園組織を形成したのであるが、山の手並新市域方面に於ては猶相當量の公園新設が必要とされ、更に大規模の運動公園並大自然公園が順次計畫されてゐる。

尙他に本市は公園的施設に成れる靈園を府下北多摩郡多摩村及千葉縣東葛飾郡八柱村の二個所に有して居る。

緑地計畫として決定された奥多摩、日原、狹山の三景園地、都市計畫事業として既に着手された新宿其他の廣場は何れも公園施設と深き關係を有するものであり、是等事業の完成の上は、補助的役割を演ずる事となるであらう。【史蹟名勝並天然紀念物】 東京市に於ける史蹟には、遠くは先史原始時代の遺蹟、近くは徳川三百年の文化絢爛たる時代のもの、次で光輝ある帝都と定められた後の貴重なものが多く、名所としては櫻の名所を始め、草花の名所、江戸を代表する技藝的庭園、天然紀念物としては巨樹・老木、珍木、史樹が生存して

古い時代の面影を今日に髣髴せしめてゐるものが尠くない。是等のものは、本市の過去と現在を物語るもので、學問の上からも、思想の上からも、尊重保存するの必要があり、大正八年四月史蹟名勝天然紀念物保存法が公布され、此の法律に依り指定されたもの及市の管理地内にあるそれ等に對し、毎年約五、五〇〇圓の經費を投じ、必要な施設をなし之が保存宣揚に努めてゐる。

今同法に依り、主務大臣から指定されたもの、東京府知事から假指定されたもの及本市に於て保存に努めつゝあるものを挙げれば左記の通りである。

(イ) 本指定されたもの

史蹟 二一 (内市管理 一八)

- (1) 浅野長矩墓及赤穂義士墓、(2) 大塚先儒墓所、(3) 西ヶ原一里塚、(4) 品川靈場(三・六番)、(5) 林氏墓地、(6) 松平定信墓、(7) 高輪大木戸趾、(8) 常盤橋門趾、(9) 龜甲山古墳、(10) 志村一里塚、(11) 舊芝離宮趾、(12) 明治天皇行幸所 對馬莊舊趾、(13) 明治天皇行幸所 西郷邸、(14) 明治天皇行幸所 蒲田梅屋敷、(15) 明治天皇行幸所 木戸舊邸、(16) 明治天皇行幸所 水戸徳川邸舊趾、(17) 明治天皇行幸所 寺島邸、(18) 明治天皇行幸所 荻窪御小休所

名勝 四 (全部市管理)

- (1) 小金井(櫻)、(2) 荒川堤(櫻)、(3) 堀切小高園、(4) 向島百花園

花園

天然紀念物 八 (内市管理 三)

- (1) 榮松院の椎、(2) 善福寺の公孫樹、(3) 淺草公園の公孫樹

(ロ) 假指定されたもの

- 史蹟 七〇 (瀧澤馬琴墓、塙保己一墓等)

天然紀念物 一 (舊木戸侯邸の椎)

(ハ) 指定されざるも市に於て保存、管理するもの

史蹟 二 (乃木邸、吉良邸舊趾)

九 道路と橋梁 道路はその産業上の重要性は勿論、都市施設としては都市の美觀、市民の保安及び保健上からも、極めて重要な地位を占むるものである。

市内に於ける道路は現在國道、府道、市道を合して延長七八六一軒、其の面積二四、九〇六平方軒であつて、總べて市長之を管理し、其の建設維持、修繕に毎年巨費を投じてゐる。帝都復興事業並夫れに引續いて道路の擴張修復が行はれ、舊市域に於ては其の大部分が舗装され、震災前市域全面積に對する道路面積の割合は一一・三%であつたが今日では一九%を占むることになり、舊市域の街路は面目を一新したのであ

る。尙新市域を合した道路面積は全市面積に對し九%である。

東京市内に於ける橋梁は道路網の完備、河川の發達に基因して其の數夥しく多數に上り、舊市域に於て五六〇橋、新市域に於て三、九五七橋を算へて居る。而して此等の中主要なるものは大正十二年の關東大震災に依つて破壊焼失せるものは當時の市域に於て二八九橋にも及んだが、之に對し東京市は復興局と協力し、其の慌しき復興期間中に於て橋梁の改築には一層の努力を拂ひ、昭和七年五月兩國橋の開通を最後として復興橋梁の完成を見たのである。

復興橋梁は、其の構造は最新學理の蘊奥の迸りであり、又其の外觀は特有の構造美を環境に調和せしめ鏡面の如く明粧された鋪道、整然たる街路樹、光華燦然たる街燈と相俟つて帝都の美觀に陸離たる光彩を與へてゐるものである。【隅田川十二大橋】は橋の壯大さに於て全國何れの都市にもその比を見ない。特に震災後隅田川に架せられた相生橋、永代橋、清洲橋、兩國橋、藏前橋、厩橋、駒形橋、吾妻橋、言問橋、白鬚橋の十大橋は、それ々々特色ある様式を備へ、之に新大橋及千住大橋を加へ共に帝都の近代都市美を代表してゐる。就中清洲橋(橋長一八六米餘) 永代橋(長一八五米餘) は共に三百萬圓(幅員二二米) 永代橋(幅員二二米) は共に三百萬圓

の巨費を投じて建設されたもので、その壯麗さに於ても他を壓してゐる。隅田川を巡航してゐる汽船を利用してこれら隅田の諸橋を見物するのも亦興味があらう。【隅田川可動橋新設工事】東京港修築工事の一部として京橋區小田原町一丁目より同區月島西河岸通八丁目に至る可動橋勝鬃橋は工費三百万圓を以て昭和六年度に着手、其の後順次進捗して兩岸の橋臺は既に竣功し橋脚及側徑間鐵部製作は目下工事中である。因に本橋は本邦に其の類なき大規模の可動橋にして、其の完成の曉はロンドンのテームス河上に架せられたる塔橋にも優る壯觀を呈し、東京名物の數を一つ加へることになるのである。

一〇 東京港と品川臺場 東京港と一般に稱せられるは、隅田川下流お臺場附近一帯の約八百五十九萬平方メートルの海面である。當港の顯著な特徴は、貨物港、入超港、艀船連絡港であつて、吞吐貨物量は年五百萬噸の巨量であるが、旅客は僅かに一萬二千餘人に過ぎない。東京港修築工事は、隅田川改良工事の名で明治三十九年に始められたが、その第三期工事は昭和十年四月完成し、更らに引續き工費三千三百萬圓で東京港完成のため修築工事が進められてゐる。

品川臺場は、この埠頭から眺めると海上二列に點在し、お

臺場」と稱せられて市民の親しんでゐるものである。鎖國泰平の夢が黒船の來航によつて破られ、港灣防備の必要を痛感した幕府が嘉永六年六月ペリー提督が浦賀に來航した二月後に、江川太郎左衛門等に命じて築造させた砲臺の趾である。一番から六番砲臺までの中、第三番は適當の復舊工事を加へられ、臺場公園と稱し、市内唯一の海上公園として公開されてゐる。



書圖本日大

薦推會溪茗

社會病理學(一)

新四六判函入
總クロース装
三〇〇ページ

醫學博士 杉田直樹著

〔文部省認定圖書〕

定價 一圓

送料十錢

社會が個人の集團であり生活組織の一單位であるならば、そこには自ら個人に於けると同様に疾病があり、そして當然社會病理學といふものも生れねばならぬ。著者は我が國に於ける社會病理學の精神を、社會病理學の重要部門として、少年の犯罪、病理解、原因、分類、症候、矯治に亘る六講を掲げて、懇切に社會病理の重要部門を解説したもので、これからの社會生活上何人も心得て居なければならぬ知識を科學的に然も出来る限りの具體的に展開してゐる。教育者や社會事業家や子女をもつ家庭人は一讀して置いてよい書物である。

薦推會溪茗

書圖本日大

社會教育概論

新四六判函入
總クロース装
三三〇ページ

日本放送協會
教養部長

小尾範治著

〔文部省推薦圖書〕

定價 一圓

送料十錢

本書は、曩に文部省社會教育課長たり、又現に日本放送協會の教養部長として社會教育の實際に當つて居る著者の、斯業に關する學的體系を概説したものである。即ち序論に於ては社會教育の意義とを、その重要性並に發達を述べ、本論に於ては社會教育の對象たる母性及び幼児、青年男女、成人の各層を説き、進んで施設及び方法として、少青年團體、機關、設備等について書いて居る。著者の意見は極めて穩當で、それだけ常識的ではある。しかし教育者の斯道に對する知識が不十分で、然も俄かに勃興して來た社會教育の要求に對應せねばならぬ時代には適當な指導書であらう。

文部時報刊行計畫摘要

一目的 本省行政ニ關スル法令並ニ諸般ノ施設事項ヲ周知セシムルト共ニ所管ノ行政及教育機關等ノ聯絡提携ニ便ナラシムルヲ以テ目的トス

二内容 本時報登載事項ノ大要左ノ如シ

訓令	勅令	告示	省令	法律
訓令	告示	指令(例規トナ)	通牒(例規トナリ又ハ一般ノ參考トナルモノ)	
法令解説	質疑應答	本省ヨリ公文ニテ	復命書及報告書	
任免、陞叙、叙位、叙勳	表	研究調查	統計	
講演、講話、談話	公	告	寫	眞
人事	事	公	告	眞

三編纂 文部時報編纂ノ爲編纂委員長並編纂委員若干名ヲ置ク
編纂委員長ハ文書課長ヲ以テ之ニ充テ編纂委員ハ文書課員中ヨリ之ヲ命ズ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

資料蒐集ノ爲省内各局課ニ文部時報報告委員ヲ置ク

文部時報報告委員ハ各局局課ノ理事官、屬、囑託等ヲ以テ之ニ充ツ

必要ニ應ジ直轄各部、各府縣其ノ他ヨリ資金ヲ求ムルコトヲ得

四發行 本時報ハ菊版、每號約六十四頁、定價貳拾錢ヲ標準トシ毎月三回一ノ日ヲ發行期日トス

發行所

東京市京橋區銀座西七丁目一番地
帝國地方行政學會
電話銀座六六〇、六六一、六六二、六六三番
振替貯金口座東京十三番

戰轉斷無禁

發行所 大谷仁兵衛
印刷所 行政學會印刷所第二工場
電話牛込二九六番

昭和十二年五月九日印刷納本(第五八四號)
昭和十二年五月十一日發行

料告廣

廣告料は一頁五拾圓、二分ノ一頁參拾圓、四分ノ一頁拾八圓とす
掲載頁數は壹部毎に拾參頁を超ゆることを得ず
右文部省の御指定に依つたものとす

表 價 定

一ヶ月 金貳拾錢 送料共
六ヶ月 金參圓六拾錢 送料共
一ケ年 金七圓貳拾錢 送料共

●臨時増刊又は増大號發行の節は別に代金申受けます
●御注文は總て前金に願ひます前金切れの場合には送本いたしません

番九一二京東替振・目丁一座銀市京東

社會式株書圖本日大

文部時報

第五百九十五號

目次

卷頭 (明治天皇御製二首 昭憲皇太后御歌一首)

國民精神總動員運動實施に就て

文部省 二

中等學校教育新教授要目の趣旨(二)

東京文理科大学 教授 文學博士 篠原助市 四

理會と表現

東京高等師範學校 教授 兼 教授 岩井良雄 二二

最近の電氣工業情勢

明治專門學校 教授 室住熊三 二六

裁縫指導

東京女子高等師範學校 訓導 丹羽さく子 三五

修學旅行とその對象としての東京(補遺)

東京市設案内所長 清水照男 三九

公立學校の種々相

中央大學の特色 中央大學長 原嘉道 四九

本校の特色 浪速高等學校長 安達貞太 五二

我が校の特色 二松學舎專門學校長 山田 準 五四

眞宗專門學校の特色 眞宗專門學校長 一柳知成 六一

本校の特色と入學を志望するものに告ぐ 梅花女子專門學校長 伊庭菊次郎 六三

本校の特色 麻布獸醫專門學校長 内村兵藏 六七

外國人教師の觀た日本の教育

本邦高等學校の語學教授に於ける

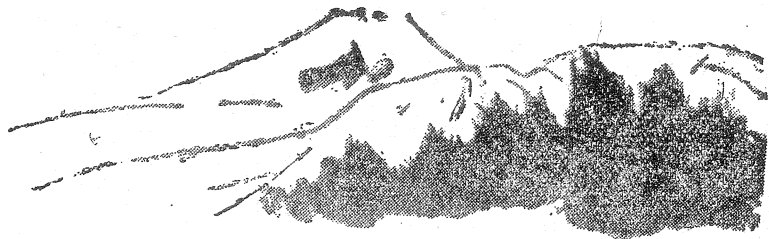
獨逸文學 東京帝國大學 文學部 講師 E・ヤー ン 七一

五高生活十二年 第五高等學校 僑外國人教師 G・ハ ード ル 七六

高等學校に於けるドイツ語教授に就て 第八高等學校教師 R・H・ハミツチユ 七九

日本に於ける教育 高松高等商業學校 僑外國人教師 F・J・ハワ ード 八四

日本の學校教育に就いて 高松高等商業學校 僑外國人教師 G・A・ベ ール 八九



本校の特色	浪速高等學校長	安達貞太	五二
我が校の特色	二松學舍專門學校長	山田 準	五四
眞宗専門學校の特色	眞宗専門學校長	一柳知成	六一
本校の特色と入學を志望するものに告ぐ	梅花女子専門學校長	伊庭菊次郎	六三
本校の特色	麻布獸醫專門學校長	内村兵藏	六七

外國人教師の觀た日本の教育

本邦高等學校の語學教授に於ける	東京帝國大學 文學部講師	E・ヤ ー	七一
獨逸文學	第五高等學校 備外國人教師	G・ハ ード	七六
五高生活十二年	第八高等學校教師	R・H・ハ ミツチユ	七九
高等學校に於けるドイツ語教授に就て	高松高等商業學 校備外國人教師	F・J・ハ ワード	八四
日本に於ける教育	高松高等商業學 校備外國人教師	G・A・ベ ール	八九
日本の學校教育に就いて			

統計

昭和十年度文部統計摘要 (一)	文部大臣官房文書課	九〇
昭和十二年度地方費豫算 (八)	文部大臣官房文書課	九六

省令	文部省令第二十八號(傳染病研究所痘苗血清等販賣規程中改正)	九九
----	-------------------------------	----

告示	文部省告示第二百九十六號(關東高等女學校設立者變更認可)——同第二百九十七號(尋常	
----	---	--

小學算術第三學年兒童用下定價)	同第二百九十八號(善隣高等商業學校資格指定)	同第二百
-----------------	------------------------	------

九十九號(關貢日本小學校恩給法指定)	同第三百號(史蹟名勝天然紀念物指定)	同第三百一號
--------------------	--------------------	--------

(伊勢崎商業學校名稱變更認可)		九九
-----------------	--	----

通牒	臨時工業技術員養成ニ關スル件——內地歸還兒童生徒ノ學校入學ニ關スル件	一〇〇
----	------------------------------------	-----

敘任及辭令 (自昭和十二年八月十一日至同二十日公表ノ分等)		一〇一
-------------------------------	--	-----

彙報	時局對策講演協議會開催——三奏本金葉和歌集獻上——學位授與——日本諸學振興委員會	
----	--	--

委員長等命免——教學局庶務課事務分掌規程——生徒募集——第六十六回中等學校教員試驗檢定本		
--	--	--

試驗合格者——教員免許狀擬奪——檢定教科用圖書——青年學校設備費補助交付——帝國圖書館閱		
--	--	--

覽人員——推薦映畫——眞宗本願寺派寺院紛擾調停法制定——歸朝——轉任——休職——退職——		
--	--	--

死去		
----	--	--

地方學事消息



修學旅行とその對象としての東京

—補遺—

東京市設案内所長 清水 照 男

本時報五月十一日號に於て、東京への修學旅行に就て若干の卑見を述べて大方の參考に供し、且その對象としての東京市に就て、その沿革、人口、都市計畫、教育、社會、保健、産業等各施設、その他都市施設、史蹟名勝天然記念物等に關し概説するところがあつたが、尙、六百萬の人口を有し、世界第二を誇る大都市の全貌を傳へるに不充分の點が多いので、更に諸方面より考察し、且、二三の參考項目を附加して、その補遺としたいと思ふ。

一、觀光都市東京について

修學旅行の意義に就て、その單なる實地見學の意味に止ま

修學旅行とその對象としての東京（清水所長）

らず、生徒をして社會認識を深めしめ、或は批判力を涵養するの機會たらしむべきことの重要性につき考究したのであるが、その參考に資するために、東京に於ける文化的竝に都市的の諸事象について、若干補足的の説明を附加したいと思ふ。

一、東京の交通について 【大都市交通の特異性】 大都市に於ける人口集中現象は、必然的に人口の過密、都市圏の膨脹となり、従つて其の交通現象は量的にも質的にも極めて動態的である。此の大都市交通現象の主なる特異性としては、

第一に交通總量の巨大で逐年飛躍的増加の傾向を示してゐること、第二は交通高潮時の現象を呈し、朝には都市の外廓並隣接地域から都心部の方向に、夕には其の反對の放射的交通

潮流となり、所謂勤勞者階級群の振子移動の現象となつて現はれることの二點を擧げることが出来るのである。

右の第一の點は、大正十三年以降の本市各種交通機關に依る交通總量の指數に依りこれを觀取し得られる。次に、第二のラッシュアワーの現象は、都市に於ける一日中の交通總量の三分の一乃至二分の一にも達する交通量が極めて短時間内に出現するのであつて、東京市營電車朝夕のラッシュアワー乗客數に依り其の一斑を推知し得られやう。

イ、最近十二箇年間に於ける東京市交通總量増加指數

大正十四年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年	昭和十七年	昭和十八年	昭和十九年	昭和二十年
100	101	102	103	104	105	106	107	108

ロ、東京市營電車高潮時乗客數

實地調査日		平潮時(他の時刻)	
朝(七時—九時)	夕(四時—七時)	朝(七時—九時)	夕(四時—七時)

實地調査日	實數	百分率	實數	百分率	實數	百分率
昭和十三年	10,141	11.1%	11,101	12.1%	11,101	12.1%
昭和十四年	10,141	11.1%	11,101	12.1%	11,101	12.1%
昭和十五年	10,141	11.1%	11,101	12.1%	11,101	12.1%
昭和十六年	10,141	11.1%	11,101	12.1%	11,101	12.1%
昭和十七年	10,141	11.1%	11,101	12.1%	11,101	12.1%
昭和十八年	10,141	11.1%	11,101	12.1%	11,101	12.1%
昭和十九年	10,141	11.1%	11,101	12.1%	11,101	12.1%
昭和二十年	10,141	11.1%	11,101	12.1%	11,101	12.1%

【東京市内の交通機關】上述の如き大都市交通の特質に適應する交通機關として具備すべき要件は、先づ快適、安全且高速であること、更に輸送力大にして交通需要に對する弾力性

九萬餘人、一日平均三、七五七、〇〇〇餘人であつて、その内譯は左の如くである。

種別	一箇年間	一日平均	百分比
省電	三二二、六四五	一、〇四五	二七・九
市電	二九四、一八九	八〇三	二一・四
地下鐵	二八、九五六	七九	二・一
私營電鐵	二一四、三八一	五八七	一五・六
乘合自動車	二四五、一三三	六六九	一七・八
タクシ	二〇八、五八四	五七一	一五・二

即ち市電と省電との輸送量合計は此の兩者を除いた他の總ての交通機關の輸送量と大體同じ位であり、従つて此の二者は大東京交通の兩大關であるといふことが出来る。——交通機關交通量の分布變遷——東京市電氣局の大東京交通量の調査結果に依ると、大正十三年から昭和十年までに最も鮮かな雄飛を遂げたのがタクシで、その反對に乗客減の窮狀に陥つてゐるのは市電であつた。

東京市内各交通機關別交通量(△印は一部推計)

年度	市電	省電	地下鐵	私營電鐵	乘合自動車	タクシ	合計
大正十三年	294,189	322,645	28,956	214,381	245,133	208,584	1,313,889
昭和十三年	294,189	322,645	28,956	214,381	245,133	208,584	1,313,889
昭和十四年	294,189	322,645	28,956	214,381	245,133	208,584	1,313,889
昭和十五年	294,189	322,645	28,956	214,381	245,133	208,584	1,313,889
昭和十六年	294,189	322,645	28,956	214,381	245,133	208,584	1,313,889
昭和十七年	294,189	322,645	28,956	214,381	245,133	208,584	1,313,889
昭和十八年	294,189	322,645	28,956	214,381	245,133	208,584	1,313,889
昭和十九年	294,189	322,645	28,956	214,381	245,133	208,584	1,313,889
昭和二十年	294,189	322,645	28,956	214,381	245,133	208,584	1,313,889

修學旅行とその對象としての東京 (清水所長)

を有するものなること及乗車料金の低廉なること等が數へられ、尙、他種交通機關との連絡も充分でなければならぬ。今、昭和十一年三月末に於ける大東京市内の交通機關を觀ると次表の如き狀態を示してゐる。

種別	經營主體	營業路線長	車輛數
省線	一	(市内) 八四・六	一、二七九
市電	一	一七四・〇	一、三一七
私營電鐵	一三	九三二・〇	一、〇三九
地下鐵	一	八〇	五四
市營バス	一	一六八・〇	九三五
私營バス	四六	一、三五七・〇	一、六四二
タクシ	七、三三七	—	一、五八〇

尙、既に前時代の交通機關として世人に忘れかけられてゐる人力車は、昭和十一年度に於ては自家用及營業用を合して僅かに總數一、五二八臺に過ぎず、唯、來遊外人に「リキシャ」として好奇心の對象として餘喘を保つに止まり、交通機關としての生命を喪失した。又、簡易な交通機關として街路に溢れてゐる自轉車は、同じく昭和十一年度には總數六九七、八九八臺を數へ、逐年増加の傾向を示してゐる。

【東京市内の交通量】昭和十年度中の交通量——さてこれ等の交通機關が昭和十年度中に輸送した人員は總計一三七、三八

二、東京の水道について【水源】東京市水道の水源は、多摩川、江戸川、堀井の三種となつてゐる。多摩川は、武蔵野の西を限つて續く山脈を其の源となし、東京郊外の景勝奥多摩溪谷は其の懷とも謂へる。この奥多摩溪谷の底を洗ふ多摩川の水は、山梨縣から東京府に入り、西多摩郡羽村に至り、此處で先づ本市水道に取入れられる。更に其の下流約四〇軒の砦上下兩淨水場に於て、其の伏流水が取入れられ、又、江戸川水道は金町淨水場から、堀井は杉並區善福寺池畔及澁谷區代々幡町に設けられて配水せられ、斯くして東京市民生活の源泉を爲してゐるのである。

清澄な原水は、沈澄、濾過、殺菌の三淨化作用の各機關を経て、總て各給水場から鐵管に分接市内に配水し、更に、鉛管を分岐して市民の各戸に流れて行くのである。

東京市の水道事業は其の業績概して順調であつて、昭和十一年度末に於ける豫定給水栓數七九五、八五四栓、同十一年度中に於ける豫定給水量三二、八〇〇萬立方メートルであつて、昭和十二年度は更に給水栓數に於て約四五、〇〇〇栓、給水量に於て約一、九〇〇萬立方メートル増加の見込みである。【貯水池】貯水池は、水源が市より遠く、又流量の豊富でない本市に於ては、送水の調節を圖る爲、且水源の渇水期に給水の安固を保たし

める爲必須のものである。従つて、其の構造規模は六百萬の市民を背景として居るから當然巨大ならざるを得ない。事實週廻一三軒九、満水面積一、四二二平方軒の村山貯水池、週廻一九軒二、満水面積一、六五七平方軒の山口貯水池は、雷に東洋第一であるばかりでなく、世界屈指のもので、兩池合計三、〇〇〇萬平方メートルを超えてゐる。これは峡谷を爲す自然の地形を利用して、其の口を土堰堤を以て扼し、此處に原水を貯溜したもので、此の水域、前者は六箇村、後者は五箇村に跨る事を見ても、此の巨大さが想像されるのである。試みにこれが竣功迄に要した費用と年數を見ると、村山貯水池は約七、七五九、〇〇〇圓、十三箇年（大正五年度―昭和二年度）、山口貯水池は約六、四二九、〇〇〇圓、七箇年（昭和二年度―同八年度）である。

尙、文化の進展に伴ひ使用水量も著しく増加の傾向を有するため水量缺乏の不安を除く爲に、多摩川の河水調節を計り更に小河内貯水池が設けられることになつた。同貯水池計畫は、小河内村地内に多摩川本流を横斷する高さ一四九米、堰堤長さ三二〇米、敷幅一三〇米の大堰堤を築造し、二〇〇、〇〇八、〇〇〇立方メートルの水を貯溜せんとするものであつて、村山、山口兩貯水池の貯水量合計の約六倍に相當し、此の貯水

量の全部を丸ビル大の樽で量れば約七百杯に相當する。此の貯水池の堰堤はアメリカのボールダーダム（フーバーダム）に次ぐ世界第二の高い堰堤で、その工事は世界的の大事業であり、東京府の小河内村、山梨縣の小菅村及丹波山村の三箇村が水底に没し、其の大きな富士五湖中の河口湖に近い人工湖が出現することになるのである。本工事に要する費用は、一切の附屬工費を合し總額四、八七〇萬圓の豫定であり、本計畫の成就により本市人口が六五〇萬人に達する迄は先づ水の不安を無くすることが出来るのである。尙、この工事は、昭和十三年より着手し十七年までには全部完成する豫定である。【沈澄池、濾過池、淨水池】本市水道は原水淨化のため、數ヶ所に二十二の沈澄池と、一〇七の濾過池と、二十五の淨水池を有してゐる。【水道使用状況】水道の使用は大東京の人口激増に伴つて、毎年のやうに普及してゐる。最近では市域擴張に依つて新市域方面の水道も東京市のものとなつたので、水道普及のため十萬軒増設計畫を實行し、其の結果、給水栓増加著しく、昭和十年三月には玉川水道を買収合併し、この方面にも給水栓の増加を見たわけである。昭和十一年三月末に至つては、實に給水面積五五四平方軒、給水栓數七、一三、九一九箇、給水戸數八三〇、一五三戸、給水人口四、七六二、六三二

人といふ龐大な記録を止めてゐる。殊に舊市域は二、三の區を除き、今や殆ど給水飽和の現象を呈してゐる。併し乍ら一方新市域は合併後日尙淺く、市内とはいへ未だ武藏野の姿を其處此處に見せてゐる有様であるから、これら地域を含めた全市域に水道の普及されるのは尙相當の日時を要することと思はれる。

市民の水の使用状態を調べて見ると、昭和十一年度年間給水量は三三〇、五八二、七〇二立方メートルで、一日の最大給水量は一、二八一、一一一立方メートル、一日一人當最高給水量は二四〇立の記録を示してゐる。昭和十二年の夏は恐らく一日最高一二〇萬立方メートルを突破し、一三〇萬立方メートルに近い數字が現はれることであらう。これは東京驛前丸ビルの容積が約二六萬立方メートルであるから、之を一箇の樽と見て、昭和十一年中の最大給水量は約四杯半、本年の豫想は約五杯となるわけである。

市内で最も多く水を使用する處を調べて見ると、一箇月一桎に付一六八、八五三立方メートルを使用する陸軍造兵廠板橋火工廠が斷然他を抜き第一位を占めてゐる。之を使用者別に分つて見ると、官公署では前記板橋火工廠、工業會社では東京瓦斯株式會社の三八、三八五立方メートル、百貨店では日本橋三越の二

一、三〇二立方メートル、劇場では歌舞伎座の二二、〇六七立方メートルが夫々第一位である。次ぎに一般家庭では、一箇月平均一二立方メートルとなつて居り、一日平均に換算すれば三九七立となる。尙、各職業につき一箇月一桎平均の使用量を見ると、湯屋用は六六四立方メートル、家事營業用は二三立方メートル、學校用は四七九立方メートル、官公署用は二二〇立方メートル、病院用は六〇九立方メートル、汽罐用は一三〇立方メートル、撒水道路用は二八立方メートル、自動車洗滌用は二四立方メートル、娛樂用は二三立方メートルが使用されてゐる。

三、其の他の都市的、文化的諸事象に就て【電燈電力需用】水道が都市生活の源泉であり、交通機關がその血管であるとするれば、あらゆる都市の事業施設に動力を供給し、又都市生活を夜間にまで延長充實せしめる血液の如きものは、電氣供給事業である。東京市内の電燈電力は東京市電氣局の外、五つの民間會社の供給する處であるが、今電燈需用に就て見ると、その需用戸數は、昭和十年度に於て總數一、一六六、七〇四戸で、その需用燈數は七、五〇一、九二八箇である。次ぎに電力需用に就て見ると、同じく昭和十年度に於てその需用戸數は六六、六二四戸で、その需用キロワットは四七九、三八三キロワット（この數字は昭和八年五月調で、昭和十年度に於ては此の一割増しと推計せらる）である。

尙、昭和八年五月末に於ける東京市電氣局關係の分に就て見ると、一世帯當りの電燈々數は七・二三箇、電力使用量は四四〇ワット、一人當り電燈々數は一・五六箇、電力使用量は九〇ワットであり、建物延十坪當りは電燈々數三・五箇となつてゐる。【地價】地價の高低はその土地の繁榮を計るバロメーターであるが、昭和九年度中の東京市内に於ける樞要場所の宅地の賃賃價格について見ると、最高は日本橋區室町一丁目五番地ノ一で、一平方米當り一ヶ月一圓九一錢で、この賣買評定價格は六〇五圓とされてゐる。之れに反し市内に於ける賃賃價格の最低の處を見ると、王子區浮間町二、一一一番地で、一平方米當り一ヶ月僅に一錢で、その賣買評定價格は四五錢である。大東京市内の一部には未だこうした處もあるのである。

宅地の實際賣買價格に就て見ると、最高は日本橋區町二丁目一八番地で、一平方米當り賣買價格は三〇二圓五〇錢、賃賃價格は一二圓四〇錢である。同じく最低は、板橋區土支田町二丁目一、二一四番地で、一平方米當りの賣買價格は六〇錢、賃賃價格は六錢である。【租稅負擔額】昭和十年度に於ける東京市民の負擔する租稅額をその調定額に依つて見ると國稅、府稅、市稅を併せて總額一八四、三六一、九九八圓であ

り、これを一世帯當りに就て見ると一五四圓六八錢となり、更らに市民一人當りに就て見ると三一圓三八錢となつてゐる。

【省線各驛乗降客數】東京市内に於ける省線各驛中最も乗降客數の多いのは、東京驛と新宿驛であるが、今この兩驛について昭和十年度中の實數を調べると、東京驛は乗車人員二三、七七三、一八一人、降車人員二、三、一九九、四四二人計四六、九七二、六三三人で、これに對し新興新宿驛は乗車人員二七、八〇二、四六八人、降車人員二、八、〇七〇、六五〇人、計五五、八七三、二一八人であり、乗降客數の多いことでは新宿驛が第一である。これは大東京の西北郊外への發展を示す一つの現象であり、ビジネスセンターへの通勤者が次第に郊外への住居を求めて行くために現はれたる結果で、事實新宿驛を中心とした一帯の繁榮發展は近年誠に目覺しいものがある。【郵便貯金】本市内所在郵便局が昭和十年度に於て取扱つた郵便貯金は、預入口數及金額共に前年度に比して増加を示し、年度末に於ての預入人員四、一四七、五八五人、金額三三四、六六〇、九一九圓になり、前年度に比較して人員に於て三一〇、一一六人（八・一％）、金額に於て二〇、八二九、八四六圓（六・七％）を増加し、全國分に對しては、人員は八・九％、金額は一〇・四％の割合に當り、増加率も亦全國に比して稍良好である。更に、

預入者一人當りを見ると八〇圓六八錢となり、人口に對する預入者の割合を見ると、人口一〇〇人に付預入者七一人となり、人口一人當りの平均貯金額は五六圓九五錢に該つてゐる。【東京港の埋立地】東京港の周域に於ける市營埋立地は港灣及河川工事により造成せられたものであるが、同時に東京市が宮城を中心として周延的に發展すべき一つの現れとも見られるのである。この埋立地は、明治四三年より現在迄に完成せられたものと、近く竣功豫定のものを加算すれば實に總計七二〇萬平方米に達する。以上の内大正九年頃迄に竣功せる芝浦、月島、深川等の埋立地は、既に各種工場、商店、住宅等に利用せられつゝあるのであつて、次いで完成した埋立地も港灣設備の完成に伴ひ益々發展の途上にあり、將來此邊一帯は大工場地帯として有望なる地域となるであらうと豫想されてゐる。昭和十五年に於ける皇紀二六〇〇年記念の大事業たる日本萬國博覽會も此處に開催されることに決定されて居り、東京港に臨むこの埋立地一帯が、繁榮東京の姿を示現することも遠い將來のことではあるまいと思はれるのである。【浮浪者】輓近都市に於ける經濟、文化の發展は眞に驚くべきものがあるが、これらの恩恵に浴さず、處定めず轉々と彷徨する浮浪者の存在も、我々の無關心ではゐられない大きな都市

的の問題である。昭和十年に行はれた國勢調査の附帶調査によれば、東京市内に於ける浮浪者の總數は一、一一七人の多きに上つて居り、その内男一、〇七三人に對し女は僅か四四人で、總數の四％弱にしか當らない。浮浪者の存在は、社會の保健、風紀、犯罪等に關し影響する處頗る多く都市の一つの悩みである。彼等は多く公園、神社境内、ガード下、橋上、橋下、廣場、空家、或は道路等に蜷集して寢臥する。その中公園に在るもの最も多く、公園施設が晝間は市民の散策遊戲の安息所であるのに、夜は變じて浮浪者の文字通りの安息所となるの觀のあるのは、誠に皮肉な現象と謂はねばならない。而して、これら浮浪者の存在する場所が多く待合、料理屋、娛樂場等の多い所謂盛り場の附近であることは特に注目すべき點である。

二、東京見學に關する參考事項

一、東京名所舊蹟見學の基本的コース 複雑多岐に亘る文化都市東京の見學には少くとも三日間を費さねば充分の效果を期待することは出来ないと思ふ。今、三日見學のコースを作成して參考に供しやうと思ふ。併し日時都合に依つては勿論省略すべき箇所も生ずるわけであるし、又學校の種類に

より理科學研究所、榮養研究所、農事試驗場、工業試驗場、特殊工場等特別の見學場所を加へねばならないから、當然取捨選擇の必要も生ずるわけである。

第一日

- 1 丸ノ内附近 東京驛―驛前廣場の交通量夥多のため驛の乗降車兩口からオフィス街へ連絡地下道の開通
- 中央郵便局、鐵道省、丸ノ内ビルディング、郵船ビルディング、明治生命ビルディング等ビジネスセンターの偉容
- お濠端―丸ノ内一帯は、美觀地區として指定され種々の制限取締を受けてゐるのであるが、豪華な近代建築美と江戸の昔からの姿その儘なる老松水に映ゆるの濠端風景との奇しき調和は世界にその比類なき都市美として推賞されてゐる。
- 2 宮城二重橋 楠正成公銅像
- 3 櫻田門 帝國議事堂、參謀本部、警視廳、內務省、司法省、海軍省、外務省、文部省等霞ヶ關官衙街
- 4 明治神宮、同寶物殿（途中）辨慶堀、三宅坂の景勝、平河町櫻並木、赤坂見付、辨慶橋、豊川稻荷、青山御所、神宮表參道、同潤會アパート等
- 5 神宮外苑 聖德記念繪畫館、日本青年館、野球場、陸上競技場、水泳場等―日本のスポーツセンターたる外苑一帯が、昭和十五年の第十二回國際オリムピック競技大會の會場と決定された。
- 6 乃木神社 舊乃木邸（途中）憲法記念館、陸軍大學校
- 7 新宿繁華街―都市發展形態の實證的説明

第二日

- 10 神田明神 湯島聖堂 神田明神境内より下町一帯の展望
- 11 東京帝國大學
- 12 お茶の水附近 聖橋、ニコライ堂、大病院街
- 13 高架鐵道―交通機關の縱の發展（途中）秋葉原驛、隅田川、兩國橋、國技館
- 14 震災記念堂 復興記念館
- 15 淺草公園 觀音堂 仲見世、娛樂街、吾妻橋―都市に於ける娛樂施設の集中狀況
- 16 日本橋室町附近 日本銀行、三越本店、三井銀行等
- 地下鐵見學―路面交通機關よりの必然的發展、高架鐵道と對比する縱の發展
- 17 愛宕山 放送局（途中）市役所、帝國劇場、日比谷公園、公會堂、帝國ホテル、日本勸業銀行等
- 18 増上寺 徳川家靈廟（途中）青松寺、肉彈三勇士銅像
- 19 泉岳寺
- 20 銀座通り
- 21 第三日 日枝神社 例祭六月十四、五、六日（山王祭）

- 22 首相官邸
- 23 築地魚市場（東京市中央卸賣市場） 東京港、お臺場展望
- 24 西本願寺 歌舞伎座
- 25 清澄庭園―庭園的公園として
- 26 龜戸天神―藤の名所、太鼓橋、例祭八月廿四、五日
- 27 水天宮（途中）新大橋、蠣殼町附近株屋街、東京株式取引所―東京の商業經濟の中心
- 28 日本橋附近 道路元標 注意すべき現象は日本橋區における小商人の衰微
- 29 有樂町新聞社街 東京朝日新聞社、東京日々新聞社、報知新聞社等―參觀時刻は午後二時乃至三時
- 30 日比谷公園及附近

二、東京市を中心とする見學適地 觀光地としての東京市

は其の近郊に於ける名所舊蹟は勿論、近縣に於ける著名なる觀光地―例へば日光地方、江ノ島、鎌倉等―を包含して地理的關係上幾多の觀光ブロックを形成する。東京市に觀光する内外客は又これ等の地に杖を曳くを常とするのであつて、修學旅行が新しい科學的意義に於いての觀光旅行である以上、東京地方への修學旅行に就ても亦その對象として、これ等の地方を考へることは固より當然のことである。即ちその訪問計畫を東京滞在中のプログラムに組込むか、入京前若くは離京後のコースに織入れるか、兎に角、修學旅行をして一層有

修學旅行とその對象としての東京（清水所長）

意義有效なるものたらしめたいと思ふ。今見學に適當なる個所を擧げて簡單な説明を附することとする。此の内には、東京を出發點とするために宿泊を要するやうな個所もあるが、旅行全體のコース中の一對象地點とすれば必ずしも宿泊を必要としないこと勿論である。

(1) 多摩御陵と高尾山 多摩御陵は中央線淺川驛の東北に當る。丘上に南面して 大正天皇の永遠に神鎮まります御陵である。陵型は上圓下方型で、兆域は二、五〇〇平方米、御陵の三方を繞る臺地には檜櫟の疎林があり、丘陵からは雑木の群と土の香豊かな武藏野を一望に收むことが出来る。附近又史蹟と名所に富み、紅葉の名所としての高尾山はここから近い。

(2) 日光 日光は國立公園に指定された地で、今日では最早日本の日光と云ふよりは、自然美と人工の美を巧みに調和せしめた點で正に世界の日光と云ふべきである。

大谷川の清流に架けられた朱塗の神橋、華麗の極地ともいふべき陽明門、神秘と幽邃に包まれる中禪寺湖、さては雄大無比の華嚴の瀧、あらゆる美と魅力とを兼ね具へた處に日光の價值があると云へやう。

東照宮は別格官幣社にして徳川家康の靈を祀り、境内九〇、

九四三平方米、桃山時代の後を受けた徳川時代の建築の完全な所謂權現造の模範的建築物である。社殿は全部朱塗の極彩色で、金銀珠玉を鏤め、精巧な彫刻を施したもので、一度其の前に立てば兵馬の權を握ること三百年、三百諸侯を脚下に跪かせた徳川氏の權勢と榮華の歴史を偲ぶことが出来る。いま社殿全部は特別保護建造物に指定されてゐる。

(3) 箱根 日歸りの旅としては少し心残りの點はあるが、早朝東京を出發すれば一通りだけは見學出来る。箱根は其の山水の美と溫泉の豊かなる殊に靈峰富士の颯爽たる姿を指呼の間に望み、又天城の連峰之れに對峙して常に大自然畫の風光を呈してゐる。蘆の湖の秋色は美の最なるものである。

箱根山は二重式火山の範型で、今やその活動は殆んど終熄してゐるが外輪山、裾野、陷没火口、火口丘、火口原、火口湖、火口瀬、爆發火口、噴氣孔、溫泉など悉く備つてゐる。

(4) 鎌倉と江の島 鎌倉は三方山に圍まれ、南は相模灘、由井ヶ濱に面し、鎌倉幕府の史蹟に富み、官幣中社鎌倉宮、國幣中社鶴岡八幡宮、護良親王御墳墓、源賴朝墓、建長寺、圓覺寺、壽福寺、淨智寺、淨妙寺、長谷觀音、大佛、鎌倉國寶殿等があり、所謂鎌倉時代文化の跡を偲べる。

稻村ヶ崎、七里ヶ濱、腰越を経て江の島に行く。江の島は

嚴島、竹生島と共に古來の名島で辨財天と風景で知らる。此の島は欽明天皇の十三年大地震動して生じたとの傳説があるが、對岸の片瀬附近と共に第三紀の末に淺海の海蝕臺地から漸次隆起し、その際海水に侵蝕せられて陸地と斷つたものだといふ。殊に大正十二年の地震の際には、俄然一〇米の隆起をなし、附近に第二の海蝕臺地が海上面上に露出してゐる。

(5) 三浦半島めぐり 三浦半島には軍港都市横須賀市がある外、我國開國の文化史上に一新紀元を劃した第一の史蹟地、黒船渡來で名高い浦賀やペルリ記念碑のある久里濱、觀音崎の燈臺、城ヶ島、油壺灣等史蹟と景勝の地に富んでゐる。

横須賀 軍港見學と三笠艦見學

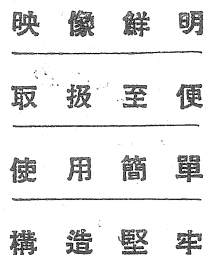
久里濱 此處の海岸は嘉永六年六月九日幕吏とペルリ提督が會見凝議した所、今海濱に高さ三丈の記念碑が立つてゐる。

三崎町 半島の南端に位し、氣候溫和、避暑避寒の好適地として喜ばれてゐる。漁業地で一ヶ年の取引高三百萬圓以上に達して居る。

城ヶ島 三崎港の前面、渡船で行く、周圍四料の小島で岩礁亂れ立つ岬角に燈臺があり、眺望がよい。

油壺 山水美に富んだ風光絶佳の地で附近に新井城址及東京大理學部附屬三崎臨海實驗所がある。

實用新案登錄



十大特徵

- ## 呈進鐵型細詳

株式会社
青木

本店 京都市中京區河原町二條南

東京支店	東京市神田區美土代町二	大連出張所	大連市若狹町四〇
九州支店	福岡市西中洲	京城出張所	京城府南大門通二丁目
大阪支店	大阪市西區阿波堀通一丁目	臺北出張所	臺北市本町三丁目

一	目的	本省行政ニ關スル法令竝ニ諸般ノ施設事項ヲ周知セシムルト共ニ所管ノ行政及教育機關等ノ聯絡提携ニ便ナラシムルヲ以テ目的トス
二	内容	本時報登載事項ノ大要左ノ如シ
三	勅書	勅語 法律
四	訓令	閣令 省令 諭令
五	訓示	告示 通告 諭告
六	指令	指令 <small>(例規トナ)</small> 通牒 <small>(例規トナリ又ハ一般ノ參考トナルモノ)</small>
七	法令解說	質疑應答 <small>(本省ヨリ公文ニテ回答シタルモノ)</small> 復命書及報告書
八	任免、陞敘、敘位、敘勳	表彰
九	講演、講話、談話	研究調查 統制
十	人事	公告 寫眞
十一	三編纂	文部時報編纂ノ爲編纂委員長並編纂委員若干名ヲ置ク 編纂委員長ハ文書課長ヲ以テ之ニ充テ編纂委員ハ文書課員中ヨリ之ヲ命ズ
十二	必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ	
十三	資料蒐集	爲省内各局課ニ文部時報報告委員ヲ置ク
十四	文部時報報告委員ハ各部局課ノ理事官、屬囑託等ヲ以テ之ニ充ツ	
十五	必要ニ應ジ直轄各部、各府縣其ノ他ヨリ資料ヲ求ムルコトヲ得	
十六	發行	本時報ハ菊版、每號約六十四頁、定價貳拾錢ヲ標準トシ毎月二回一ノ日ヲ發行期日トス

戴鐘斷無禁

一	部	金貳拾錢	送料共
一	ケ月	金六拾錢	送料共
六	ケ月	金參圓六拾錢	送料共
一	ケ年	金七圓貳拾錢	送料共

●臨時増刊又は増大號發行の節は別に代金申受けます

●御註文は總て前金に願ひます 前金切れの場合には送本いたしません

廣告料は一頁五拾圓、二分ノ一頁參拾圓、四分ノ一頁拾八圓とす

掲載頁數は壹部毎に拾參頁を超ゆることを得ず

右文部省の御指定に依つたものです

京市京橋區銀座西七丁目一番地

電話銀座六六〇、六六一、六六二、六六三番
振替貯金口座東京十三番